

おおだて 市立総合病院・市立扇田病院

病院だより

第27号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2019.4

No.27

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)



この春、7人の研修医が巣立ちます

総合病院での2年間の研修を修了しました。今後はそれぞれの専門分野へと進んでいきます。研修にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



市立総合病院
院長
よし 原 秀 一
よし 原 秀 一

比較的穏やかであった冬が過ぎ、春の気配もようやく整い、桜の便りも待ち遠しい季節となりました。さて4月は新年度の始まりで、総合病院の人員配置も大きく変わります。今年も多くの新任の職員が各部門に入りました。特に医療局では新研修医5人を含む20人弱の人員が刷新され、新しい体制でスタートいたします。大変嬉しいのは新任の医師の中の半分以上が過去に当院で実習したり研修したりした方々です。当院を巣立ち更に大きくなり、そして希望して当院に來られたことは本当に嬉しいことで、活躍を期待いたします。市民の皆さんも是非新任の職員達を温かく迎え入れていただければと思います。

新年度も当院は急性期を担う地域の中核病院として、地域の他の医療機関、介護施設などと密に連携し、地域医療の最後の砦として運営していく覚悟です。

本年度も当院には地域における少子高齢化、医師不足、医療職の過重労働、働き方改革など多くの課題がありますが、市民の皆さんのご理解とご協力を得ながら対処していきたいと考えております。地域の皆さんに頼られる病院を目指し職員共々頑張つてまいりますので、どうぞ本年度もよろしくお願いいたします。



市立扇田病院
院長
おお 本 直 樹
おお 本 直 樹

この原稿を書いている時点で新元号は発表されておりませんが、新年度はまさに新しい時代の幕開けとなります。「新しい元号は平成であります」という故・小淵官房長官の記者会見で始まった平成という時代。当時私は医学部5年生でしたが、卒業後にどれだけ苦労が待っているか、その時点では知る由もありませんでした。医師としての研鑽を積み、平成15年から病院長を拝命しておりますが、毎年が高いハードルの連続でした。平成時代は医療技術も医療資源も右肩上がりに成長してきましたが、これから迎える新時代は高齢化の加速、人口減少と共に社会も医療も大きく変化することが予想され、何を残して何をあきらめるかの選択が必要になってくると考えます。

さて扇田病院の新体制ですが、3年間頑張つていただいた村上先生が専門領域の研鑽を積むため3月末で退職しました。秋田県から代わりの医師配置は無く、医師1名減が見込まれましたが、一昨年まで在籍した麓先生が復職してくださることになりました。常勤医師5人というギリギリの体制ではありますが、地域の皆さんの心の支えになれるように職員一丸で取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新元号への対応について

2019年5月1日より新元号が施行されます。施行されるまでの間、本年5月1日以降の年月日を表記する際、原則として現在の元号「平成」を使います。例えば、入院診療費請求書の納期限や処方せんの使用期限などは、4月30日までは、5月1日以降の日付であっても「平成」と表記されます。

「平成」により表記された期日等は改元後も有効ですので、5月1日以降の日付については、「平成31年」の場合は「(新元号) 元年」と読み替えてくださいますよう、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

4月27日~5月6日は 外来診療が休診となります

新天皇のご即位にともない、今年は4月27日(土) から5月6日(月) まで10連休となります。この間の診療は総合病院、扇田病院ともに休日体制となり、救急患者については総合病院の救急外来での対応となります。

なお、継続治療が必要な患者さんなどには個別にご連絡差し上げております。ご理解とご協力をお願いいたします。



救急外来のかかり方について… ご協力をお願いいたします。

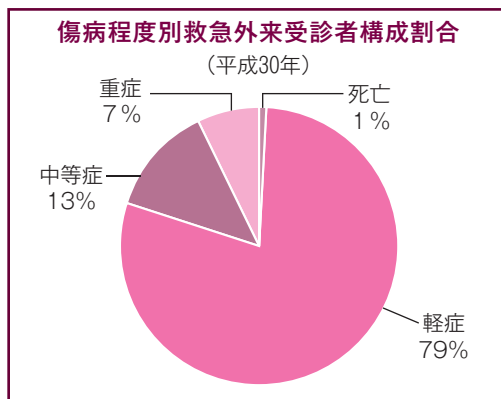
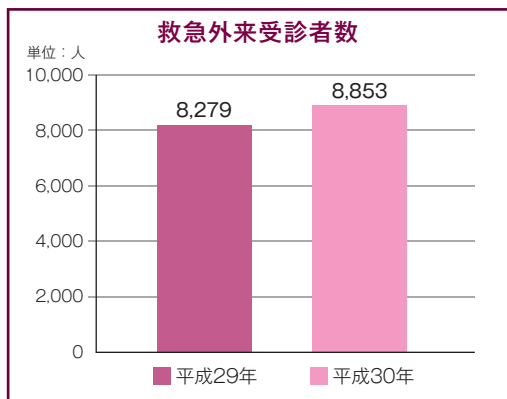
地域の救急医療の現場は、医師不足や患者の増加、複数の患者対応などにより、重症患者の診療に支障をきたしております。また、「日中は仕事があるから」、「夜間の方が空いているから」などの理由で、救急外来を受診する「コンビニ受診」が全国的な課題となっています。

総合病院の救急外来には、年間約8,000人以上の患者さんが受診しています。そのうち2割はそのまま入院となる重症患者で、処置や治療に多くの人員と時間が必要です。一方、かぜによる発熱や軽度のけがなど、入院を必要としない患者さんが残り8割です。

救急外来では、緊急度・重症度が高い患者さんを優先して診療していますが、軽症の方の診療と重なって、十分に対応しかねる場合があります。また、平日の診療と比べて、行える治療や診療が限られます。

平日はかかりつけ医や、受付時間内での受診をお願いします。夜間や休日は、「大館市休日夜間急患センター」で受け入れていますので、そちらのご利用をお願いします。もし重症と診断されれば、すぐに当院へ紹介されます。

適切に救急を受診されることで、一人でも多くの患者さんを救うことができます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



救急外来は当院全科（待機等）で対応しております

救急外来では、日当直の医師と看護師数名で診療を行っています。日当直医の専門外の傷病のため専門医による診療が必要と判断した場合は直ちに専門医に連絡を取るなど、全診療科で対応しております。

けが等による救急搬送は、曜日ごとに搬送先が決められています

<詳細>

- 対 象 : 整形外科で治療が必要なかた
- 担当時間 : 朝8時30分から翌朝8時30分まで
- 搬 送 先 : 月、水、金、日曜日……市立総合病院
火、木、土曜日……秋田労災病院



(例外) 多発外傷や頭部外傷を伴い、意識障害があるかたは総合病院（曜日問わず）
※搬送先の判断は、上記ルールと状況を勘案しながら救急隊が行いますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

紹介 します

7病棟

7病棟は、内分泌・代謝・神経内科と整形外科の混合病棟です。病棟フロアカラーの“ブルー”は、クールなイメージですが、病棟スタッフは明るく笑顔で対応することを心がけています。

内分泌・代謝・神経内科では、糖尿病の患者さんが多く、病棟で毎日糖尿病教室を開催しています。教室では、専門スタッフによる勉強会があり、患者さんが気軽に相談できる場となっています。食生活や健康管理について、患者さん自身が長く向き合っていけるよう支援しています。

整形外科では、脊椎疾患や骨折の患者さんが多く、手術やリハビリが主な治療となりま



す。突然の怪我は誰でも戸惑い不安になります。痛みがあり思うように動けない患者さんが、安心して治療に臨めるよう、援助しています。

医師、看護師をはじめ、多職種でカンファレンスを行い、情報共有してチームで患者さんに関わり支援しています。(退院支援カンファレンス、リハビリカンファレンス)

患者さんや家族の方が、入院中だけでなく、退院後に望む生活ができるよう、退院後の生活を見据えた支援を行っています。

－糖尿病患者会(桂糖会)－

総合病院には糖尿病患者さんの会「桂糖会」があります。内分泌・代謝・神経内科の医師による講話や、管理栄養士の食事教室、患者さん同士の交流を通して、一緒に糖尿病について学んでみませんか？



募集期間 毎年5～6月。栄養科または内分泌・代謝・神経内科外来受付。

年会費 3,000円(情報誌「さかえ」の配布あり)

活動内容 院内教室2回(講話、食事会)
院外教室1回(講話、食事会、手芸教室等)

図 栄養科

消防避難訓練を行いました

総合病院では、2月21日に消防避難訓練を実施しました。「早期5時30分に、8病棟ダイルームの電子レンジから火災が発生する」という想定のもと、出火元の8病棟及び直上階である9病棟で模擬患者の避難誘導及び屋内消火栓を操作し消火活動を実施しました。

今回の訓練では、夜間勤務時における各病棟の火災が発生してからの対応の流れを確認しました。

総合病院では定期的に消防訓練を行い、職員の防災意識を高めるとともに、災害発生時に迅速に対応できるよう、防災マニュアルなどの整備に努めていきます。



レスキューマットで寝たきり患者(模擬)を搬送しています

「患者さんの声」より

総合病院に寄せられたご意見を紹介していきます。

「外来診療科の診察開始時間が遅い」

外来診療科について、診療開始が遅い科がある。眼科は9時15分～30分から診療を始めているが、どうして他科のように、9時からはじめないのか。また、これらの疑問に関する投書回答や電話対応も不誠実であった。

総合病院から

患者様よりいただきました投書に対する回答が遅れましたこと、またその後の当院の対応も不十分で、患者様に不快感を与えましたことを深くお詫び申し上げます。当院の投書に対する体制を見直し、一つ一つのご意見を真摯に受け止め、適切な対応を心がけてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

「大館市立総合病院診療規程」によると、当院の診療時間は8:30～17:00となっております。これは受付や診察前の準備、会計なども含まれた全ての時間です。この時間の中には、入院中の患者様への対応も含まれます。医師の診察前には、血圧や体重の測定、血液検査などがありますので、多くの診療科では9時頃に診察を開始しています。

眼科については、視力検査、眼圧測定、散瞳検査(ひとみをひろげる検査)、眼底の断層写真撮影など、医師が診察する前に多くの検査が必要となります。特に散瞳検査は、視力検査と眼圧測定が終わってから行いますが、ひとみが十分にひろがるためには30分程度かかります。このように、眼科では事前に多くの検査を行い、診察できる態勢を整えてから医師の診察を開始するため、診察開始までお時間を要します。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「救急外来でお世話になったら、別の病気を発見していただいた」

救急搬送され、スタッフの皆様にお世話になりました。救急外来では、別の病気を発見していただき、とても感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

総合病院から

スタッフへのあたたかいお言葉ありがとうございます。当院の救急外来は、緊急性の高い傷病、専門性が求められる傷病の救急医療に対応しており、必要に応じ専門医に連絡をとるなど全診療科で対応しております。これからも、地域の救急医療に貢献できるよう、体制の整備を図ってまいります。

お薬のいろんな疑問にお答えします。



服用中は車の運転をしてはいけない薬があります

薬によっては服用または使用後に運転の支障となるような眠気や注意力の低下、眼のかすみなどの副作用を起こすことがあります。

これらの副作用はかぜ薬や花粉症などのアレルギー薬、胃腸薬など、比較的多くの薬で起こることが知られています。また、のみ薬だけではなく、注射薬や貼り薬、目薬などでも起こることがあります。

過去に事故の事例もあり、これらの副作用が起こりやすい薬の服用中は、車の運転や危険を伴う機械の操作、高所作業などをおこなってはいけません。

では、自分の服用している薬は車の運転をしてもいいのでしょうか？

市販薬(一般用医薬品・要指導医薬品)の場合は、パッケージに表示されていますので確認してください。また、購入後は説明書も確認しましょう。不明な点は薬剤師や登録販売者に相談してください。

医療用医薬品(医師が処方する薬)の場合は、処方医や薬剤師から説明があります。慢性的な病気で長期間服用している薬でも、量の変更や体調の変化によって副作用が起こる可能性もあります。自分の判断で使用をやめたり、量を調節したりせず、不安がある場合には必ず医師や薬剤師に相談してください。

扇田病院です!

人間ドック、健診担当を紹介します

扇田病院では、市民の皆さんの健康に積極的に関わる姿勢で、人間ドック・健診業務に力を入れています。今回はそのスタッフの紹介をしながら、平成31年度の体制をお知らせします。

今年度の人間ドック・健診事業では、人間ドック(日帰り、宿泊)の担当として麓 耕平先生をお迎えし、看護師4名、事務スタッフ3名の計8名で、皆さんをお待ちしております。

胃検診は、これまでもご要望が多かった胃カメラでの検査が主流となります(鼻カメラもできますが、事前予約が必要です)。

担当看護師は問診、計測、採血及び胃カメラ補助などを行い、優しく声かけします。事務スタッフは予約の受付、問診票の郵送、当日の検査案内のほか健診結果、2次検診のご案内の発送を行います(ほかに、診療放射線技師、臨床検査技師も対応します)。

宿泊ドックのかたには、近隣の温泉への送迎や好評をいただいている食事をご用意し、ゆっくりした時間をお過ごしいただき、検査を受けていただきます。

自分自身の健康管理を行い、健康寿命を延ばすために、当院人間ドック、健診を利用してみませんか。スタッフ一同、心よりお待ちしております。人間ドック、健診については扇田病院ホームページにも掲載しております。(http://www.oogita-hp.jp)



外来診療費着服事件の対応状況について

平成29年6月に発覚した外来診療費着服事件について、患者さんをはじめ、市民の皆様にご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

第26号(平成30年12月号)で報告しました後の事件の対応状況について、ご報告いたします。

1. 損害賠償請求

損害賠償請求をしている東北ビル管財株式会社との民事裁判は、原告、被告双方の主張・立証を繰り返し、2か月に1回の割合で弁論準備手続をして審理が継続しています。

2. 刑事事件及び刑事裁判について

被害届に対し7回起訴され、1か月に1回の割合で公判が行われ審理が継続しています。

休日・夜間の急患対応について

当院にかかりつけの患者さんのみ対応いたしますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

肺がんCT検診 簡易脳ドック
随時受付中です

早期発見に有効な『肺がんCT検診』… 7,560円(税込)
 『簡易脳ドック』… 21,600円(税込)

お問い合わせとご予約は、扇田病院健診担当まで ☎55-1255

外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	新患 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考	
呼吸器・循環器内科	新患	9:30まで	9:30まで	休診	休診	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。現在、呼吸器内科では外来患者の受付を制限しています。受診の際はあらかじめお問い合わせください。	
	再来							
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。	
内分泌・代謝神経内科	新患	10:30まで	甲状腺診療 10:30まで	10:30まで	甲状腺診療	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。神経内科は原則として再来予約のみの受付となります。(午後診療)※1
	再来							
小児科								
神経精神科	新患	予約のみ	予約のみ	休診	休診	休診	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来							
外科								
呼吸器外科	新患	予約のみ	10:00まで	予約のみ	予約のみ	10:00まで		
	再来							
産婦人科								
眼科	新患	9:30まで	9:30まで	9:30まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来							
耳鼻咽喉科								
整形外科		10:00まで (火曜日は再来のみ)					新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。	
泌尿器科	新患	休診	休診	予約のみ		休診	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来	予約のみ						
皮膚科				休診	再来予約のみ		木は再来予約のみの受付となります。	
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来							
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。	
歯科口腔外科・矯正歯科							新患は原則として紹介状が必要です。	

上記の表は3月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

- ◎新患はできるだけ紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いしています。
- ◎この表における紹介状とは、医療機関から発行される診療情報提供書のことを指します。
- ◎新患で紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,620円を負担していただいておりますのでご了承ください。
- ※1 神経内科の新患は原則受付しておりませんが、受診希望のかたは地域連携室までご相談ください。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
		受付時間 午前8:30～11:00 眼科のみ下記のとおり					
内科・外科		(夕やけ)		(夕やけ)		(夕やけ)	午後：急患のみ 夕やけ診療(月・水・金)：午後5:00～6:30 小学生以上のかた
整形外科		休診	休診	休診	休診		
耳鼻咽喉科		休診	休診	休診	休診		
眼科		午前10:00～12:00、午後1:00～2:00 ※原則第1、第3土曜日					詳細は扇田病院ホームページまたは電話でご確認ください。

臨床研修を振り返って

研修医（2年目）
大川 栞

研修が始まってから早いもので1年が経過しました。研修当初は大学時代に得た知識と実際の臨床現場での考え方が結びつかず、上手くいかなくてもどかしく思うことも多くありました。また、2年目の研修医の方々は知識も豊富で、一人でも多くのことをこなしており、働き始めのころは特にその存在を大きく感じて来年自分も同じようになりたいと思いました。この1年間、各診療科での研修の中で先生方からご指導いただき、様々な経験や知識を重ねていくことができました。考えられる疾患を挙げ必要な検査を行い、治療を行うにあたって以前より考えられるようになりました。指導医の先生方の患者さんとの関わり方も含めて日々勉強になることばかりです。病院スタッフのやさしさのおかげで、この1年間で成長できたのではないかと感じています。これからも地域の皆さんのお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



肺がんCT検診認定施設になりました

総合病院は、2019年1月から2023年12月まで特定非営利活動法人肺がんCT検診認定機構より「肺がんCT検診施設」の認定を受けました。

肺がんCT検診認定施設は、低線量CTでの肺がん検診において、安全性、精度において一定レベル以上の質を保持していると認定された医療施設です。

当院はこれまでも安全かつ精度の高い肺がんCT検診に取り組んできましたが、より安全、高精度の肺がんCT検診に努めてまいります。



編集後記

小寒、大寒、立春、雨水、啓蟄、春分。新年からの二十四節気です。今年は雪解けが早かったため、先日ロードバイクのトレーニングを開始しました。土の匂いが立ち上がり始めた道脇の田んぼに目をやると、北へ飛び立つ前に栄養補給をしている白鳥と、縄張り争いをしているキジを見ることができました。もうすぐ春ですね。

この広報誌が皆様の手が届く頃には清明の時期でしょうか。清明とは春先の清らかで生き生きとした様子を表した「清浄明潔」という語を略したものだそうです。自然のサイクルとともに、新しい年度が始まります。
(編集委員長 重藤 龍比古)